

活動テーマ

多世代・多文化交流を基盤とした祭りによる地域活性化と健康創成

皆野町金崎・三沢地区 早稲田大学

1 活動目的

多世代・多文化交流を基盤とした祭りによる地域活性化と健康創成を活動テーマに、本年度は、皆野高校、皆野中学校、地域おこし協力隊との協働による海外への活動地域の魅力発信を目標に設定した。

2 活動地域の現状

- ・ 活動の中心となる皆野町の人口は 9,748 人（令和元年 8 月 1 日現在）、三沢地区の人口は 1,322 人（平成 27 年 1 月 1 日現在）、金崎地区の人口は 448 人（平成 27 年 1 月 1 日現在）。
- ・ 皆野町は秩父音頭発祥の地であり、毎年 8 月 14 日に秩父音頭まつりが行われる。
- ・ コロナ禍による多世代交流機会（伝統文化の継承等）の減少とそれに起因する将来にわたる地域への愛着形成をはじめとした若者への有償無償の教育機会の有機的連携が課題。

3 活動内容

- ・ 第 2 回世界秩父音頭祭り（オンライン）の企画・開催
- ・ 秩父音頭に関する動画コンテンツ作成・発信（YouTube, Instagram）
- ・ 第 2 回みなりのフォトフィールドニング参加
- ・ 皆野高校・早稲田大学・タイ王国パンヤピワット経営大学・同付属高校・皆野町国際交流プログラム（オンライン）の実施
- ・ アブライ・ハン名称カザフ国際関係外国語大学との共同による地域課題解決策提案
- ・ 活動地区での伐採作業の実施
- ・ 地域活性学会第 13 回研究大会参加・報告
- ・ 第 23 回国際ボランティア学会学術大会参加・報告

4 成果

- ・ 中止となった秩父音頭祭りを世界秩父音頭祭りとしてオンライン開催した。（昨年度に続いて 2 回目）
- ・ 秩父音頭について紹介する動画コンテンツを作成した。
- ・ 皆野中学校、皆野高校と海外大学、高校と連携した国際交流プログラムを開催した。
- ・ 活動地区での伐採作業に留学生、地域おこし協力隊、皆野町職員とともに参加した。
- ・ 活動内容や祭りの継承・発展に関する研究を複数の学会で報告した。
- ・ ふるさと支援隊 OG が皆野町職員として入職した。



図1 第2回世界秩父音頭祭りの開催



図2 皆野高校・早稲田大学・パンヤピワット経営大学・同付属高校との国際交流



図3 秩父音頭を紹介する動画コンテンツの作成



図 4 地域の方々との伐採作業の実施

5 課題

- ・ コロナ禍における地域・文化活動の制限，衰退
- ・ 学生の活動地域訪問・移動制限
- ・ 地方自治体におけるオンライン環境の整備・充実
- ・ 地域の魅力化，活性化を目指した活動の評価指標の開発・効果測定
- ・ モデル地区支援隊として他の支援隊へのサポート体制の充実・促進

6 次年度以降の計画

- ・ 地元企業・教育機関，海外企業等と連携した地域活性化プログラムの開発
- ・ 観光資源の多言語化（コンテンツ開発，皆野町地域おこし協力隊との連携）